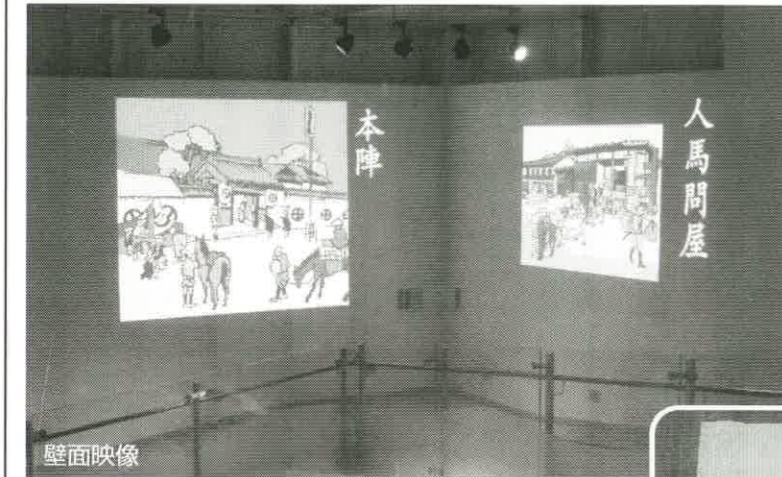


二〇一一年一月一日に開館した「みちの郷土史料館」は、二〇一一年に開館10周年を迎え、今春リニューアルいたしました。

リニューアルの見所の一つは、最新映像機器を設置した展示室の壁面映像です。これまでの映像は、「旅」をキーワードに街道を行く人々を描いたスライド式の映像でした。今回のリニューアルでは、「道が運んだもの」をキーワードに「みち」を往来した人物・文化、特にシュガーロードと呼ばれる「長崎街道」独自の食文化を取り上げ、壁面2面を使った動きのある映像をお楽しみいただけます。

さらに、体験コーナーでは、当時の様子を身近に感じいただけるよう旅姿をした人形



や大名・旅人の食事内容が分かる食品サンプルを設置しました。

みちの郷土史料館 リニューアルした

寄せ太鼓

北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館
運営協議会広報部
北九州市八幡西区木屋瀬三丁目16番26号 (〒807-1261)
TEL 093-619-1149
FAX 093-617-4949

長崎街道開通400年を記念し、木屋瀬宿を中心に長崎街道全体をテーマにした内容となっております。

人が歩けば道ができる。人が出会えば物語が始まる。街道は、生活の基本的な欲望、そして夢、野心、祈りを運ぶ道として、木屋瀬で後の長崎街道とクロスしていく……



旅姿の人形



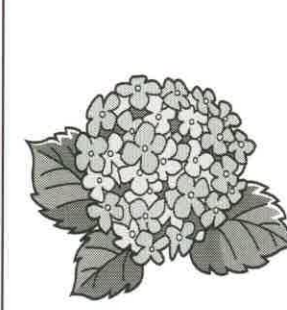
駕籠



達磨絵



旅人の食事



今年の4月より長崎街道木屋瀬宿記念館に配属になりました。日々、地域の方々の町づくりに対する思いに触れ、感謝しております。

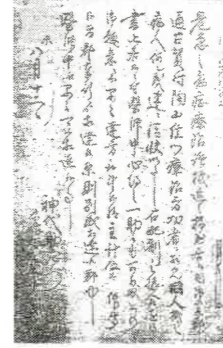
地域の皆様とともに木屋瀬の伝統を守りつつ、木屋瀬の魅力をもっと多くの方にPRしていきたいと思っておりますので、ご指導ご協力のほどよろしくお願い致します。



職員紹介
副館長
大前 亜弥

木屋瀬宿安政六年「年中御用留」 《安政の三日コロリ》其の三

木屋瀬みちの郷土史料保存会 松尾 良美



御施薬の丸薬は、「神虎丸」であるか？

嘉永六年六月三日、アメリカのペリー提督が率いる軍艦四隻が浦賀に入港した以来、二百三十有年の鎖国の夢を破つての欧米諸国との和親条約や通商条約が締結された。開国で続々と長崎へ外国船が来るようになると、伝染病も長崎街道や諸往環を経て各宿場に蔓延し、コレラの流行に拍車がかかった。

安政五年七月頃より江戸周辺でも、俗に言う「三日コロリ」が大流行したそう、御当地の木屋瀬宿界隈でも、翌年七月より八月頃にかけて大勢の罹患者や死亡者が続出した。

このコレラ治療薬として、福岡藩領内に登場したのが御施薬「丸薬」であった。御施薬とは、読んで字の如く、「施し与える薬」の意味で、「御上」に当たる藩主や藩から頂戴することである。「丸薬」は、薬剤を練り合わせて小さな球状とした薬である。

木屋瀬宿でも、コレラ罹患者に御施薬という「丸薬」を医師

二付 早速御施薬丸薬半粒程相用候之処 手足等痙攣漸次止候 数時刻後又々半粒相用候 追々 快方ニ 相成仕申候

一、男 老 人 儀三郎

右ハ当月六日吐瀉仕候二付早速御施薬丸薬一粒両度ニ相用候之処 手足等次第ニ痙攣止清快仕申候

以上の二例は、村役人の庄屋が大庄屋宛に届け出したものである。御施薬「丸薬」の効能の威力が極めて凄いが推察できるであろう。

ところが、わが家の本棚にあった海鳥社発行の「福岡歴史探検」(福岡地方史研究会編集)に、タイトルが「コレラの大流行」と悪病退散祈禱行列の記事が掲載されていた。

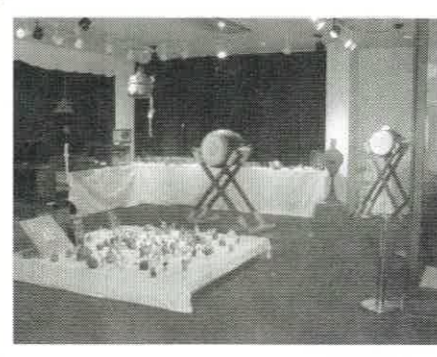
その中の「丸薬」の項を引用すると。

「コレラ治療薬の調剤も急ピッチで進められた。虎の頭の骨を調合した「神虎丸」という薬、これを福岡領内の家中から全領民に至るまで一人一粒宛配るのだから、大量の原料が必要である。薬材の購入に、福岡・博多の薬種商の代表に役人が付き添って大阪へ急ぎ上ったが、この薬の分配に金四万両が費やされたといわれる。……」

また、コレラ治療薬として安政六年八月に、福岡藩領内の御笠郡で役人神代左衛門の郡内各大庄屋衆に次なる触書が出され

ている。「危急之病症(急を要する病急)療治証拠追々指出居候内(次第に治療の手立てが講じられた)御笠郡通吉賀村佳門(医者)療治方巧者二相見(治療が秀れて)同人掛り之病人何レモ清快いたし(佳門に治療を受けた患者達は快方に向かった)右は配剤之振合をも書上居候二付(薬剤の調合の度合は記している通り)医師中心得之一助ニモ可相成との御趣意ニ而(郡内医師達も佳門の治療や配剤に従って行えとの事)早々達方取計候様(早急に実施するよう)主計殿被仰聞候旨(藩所轄役人主計殿より命令された達示の内容を)郡奉行依相達候条(御笠郡奉行から触書は)別紙相達候(先に渡した文書である)郡中医師江 早々可被相達候事(早急に間違いなく触書の趣旨を連絡すること)末 八月十二日 宗像 大庄屋中宛

果たして、これなる治療薬として陶山佳門が配剤した御施薬と藩が調達してきた丸薬や木屋瀬宿医師原田三省が罹患者に服用させた丸薬は同じものであったらうか。



企画展告知
現在、第46回企画展「鳴物展」を開催しております。平成24年6月3日(日)までと残り僅かな期間ですが、実際に楽器や土鈴に触れていただけるスペースもありますので、ぜひお越し下さい。

学芸員 園田 佳奈

国際道路と木屋瀬

平安時代「那の津」今の博多港だけが、日本中で唯一外国交流できる港として開港され、那の津以外の港の入港はできなかった。太宰府はこの那の津を管轄していた。遣唐使や入唐僧やその他、外国へ出航する船舶の統治や中国や朝鮮の国使や、僧侶や要人諸々の、外国からの渡来船の統治もしていた。遣唐使の多くは、唐に一番近い九州那の津より出航していた。こうした国際的な、那の津と太宰府と京の都とを結ぶ、現在の山陽道を主とし、これに連なる道だけを大略と呼び、国内一の重要な道路であった。東海道と中仙道が中路と呼ばれ、その他の国内のすべての路は、小路と呼ばれていた。当時の交通機関は馬車だけであり、馬の数は、大路の馬は二十足、中路の馬は十足、小路の馬は五足と定められていた。

一七五年前、伝教大師最澄、弘法大師空海の二人は同時ではなかったようだが、那の津より唐天竺に渡らされている。

伝教大師は業を修められ、九州那の津に無事帰朝されるや、直に天台宗を広めるため全国行脚にかられた。その途次木屋瀬を出られた大師が、香月の空を仰ぐと紫色の雲棚引き、その中に聖観音の梵字が赫灼として現われた。大師はこれ正しく梵刹を建立すべき聖

地なりと、お定めになり七堂迦藍二十五坊を構えた、大観音堂を建立された。香月町白岩山聖福寺である。木屋瀬改盛町の愛宕さまは、丘の坊と号され白岩山二十五坊の内の一坊である。これから十数年後に、伝教大師は比叡山延暦寺を開かれていた。

弘法大師も、九州那の津に帰朝されるや、直に真言宗を広めるため全国行脚を初められた。木屋瀬笹田にある福寿山と号されているお薬師さまは、この頃より三百年



わたしの昔話

以上も前に建立され、現在千五百年を経過されている古刹であるが、後に弘法大師が広めている真言宗に属している事を考えると、行脚大師の教えの尊さが伺える。木屋瀬町部には、お大師講と言って弘法大師の教えから始まったものがあるのか、善男善女が円座に集い百万遍の数珠くり念仏に願いをかけて、信仰の三昧境に入る行事が最近まで行われていた。香月町には葉川と呼ぶ川が、大根川と呼ば

れるようになったと言う真言宗の教訓より生まれたものか、ほほ笑ましい弘法大師ゆかりの話もある。弘法大師は全国にこうした教えを残しながら、永い年月布教行脚を続けられ、十五年目に高野山を開かれていた。

こうして、比叡山と高野山は、平安時代の仏教教学の二大殿堂となった。

金山は 信者に埋れ 花曇り

遣唐使の船沈没し、全員死亡の記録もあり危険きわまりない航海を、覚悟の上で千年以上もの昔、小さな船に命をかけて、那の津より唐天竺に渡り、日本文化の基礎となる諸々のものを全身に秘めて、九州那の津に帰朝された国際的な要人をはじめ、京の都と太宰府との間の、大路を往き来する国使をはじめ多くの人達を、木屋瀬の人はひたすらに安泰を願いながら、お見送りしていた事であろう。平安時代、外国との交流のため、国内で唯一開かれていた港、那の津に通ずる、国際道路の中で栄えた木屋瀬であった。

江戸時代、外国との交流のため、国内で唯一開かれていた港、長崎港に通ずる、国際道路長崎街道の中で栄えた木屋瀬宿であった。

柴田豊廣遺稿集より 柴田 由美子

シリーズ 筑前木屋瀬宿 神仏めぐり

第二十五回 白髪山西元寺

平成の大事業 本堂新築の三年

西元寺は、浄土真宗本願寺派の寺院で、木屋瀬の中心地域の須賀神社前の祇園町通りにあります。歴史は大変古く、天正十年（1582）に本願寺十一世顕如上人が本尊を賜り、寛永元年（1624）に、現在地に仏殿を建立しています。今から388年前のことです。その後、何度か建て替えをしていますが、前回の建築が文久元年（1861）で、約150年前のことです。永い年月、門信徒の心の拠り所として代々受け継がれて来ましたが、時の経過と共に建物の傷みがひどくなり、この度、門信徒一同の発願により本堂新築の大事業が計画されました。



平成二十一年より、解体・新築工事が始まり、平成二十四年度の完成を目指し現在着々と工事が進んでおります。この度の西元寺本堂建立は、昨今大変数少なくなつた木造の本格的な寺院建築で、その希少さからドキュメンタリーとして、現在地元のテレビ局で何度か工事の現場や工法が紹介されています。建物の骨格となる

木材は、能登の輪島から樹齢三百年、重さ二トンの大木が次々と運び込まれ、伝統的工法で骨組みがなされ、その流線的な屋根組は日本伝統の寺院建築の職人による芸術作品そのものです。さて、寺院を解体し新築するには多くの儀式が必要です。その一「ご遷座・解体法要」ご本尊の阿弥陀如来さまを、仮本堂へ移す儀式です。

平成二十一年三月二十九日「ご遷座、解体法要」が、厳かに行なわれ、ご本尊を御輿に安置して、多くの門信徒や寺族、住職に付き添われ、読経が唱えられる中で遷座が行われました。

その二「起工式法要」ご遷座・解体法要から一年、日本堂の解体と新築の基礎工事が進められ、平成二十二年三月二十八日、本堂新築の「起工式法要」が営まれました。式壇は、新本堂のご本尊が安置される場所に、西本願寺八代目の蓮如上人が書かれた、「南無阿弥陀仏」の名号が掛けられ法要が勤まられました。門信徒をはじめ、建築関係者、ご町内の皆様など多数の方々のご参詣され、読経中に浄土の荘



厳を表す形としての「散華」が行われ、多くの方々感動の中で本堂建築の無事を祈られました。

その三「新本堂上棟式」雲一つない晴天に恵まれた、平成二十三年十月八日「新本堂上棟式」が勤修されました。建築の最高責任者である、花元棟梁を始め、西元寺住職、総代、役員も紋付袴姿で参列し、建設関係者や門信徒で境内は満杯の状態でありました。読経、焼香のあと、花元棟梁の掛け声で、紅白の綱を皆で曳いて棟を引き上げる、上棟の儀式が古式に法り行われました。その後、お祝いの餅まきが行われました。住職、総代、役員、棟梁が建物の四隅から大餅を撒き、その後、五千個の小餅が境内の参詣者に撒かれ、何百年に一度の寺の建設を共に喜びお祝いし、仏縁に感謝し、念仏の声の中に無事に上棟式が閉式しました。現在、建築の最終段階の瓦葺きの工事が順調に進められています。

人のせと

あの世を結ぶ 桜かな 本町 野口 靖彦

木屋瀬祇園山笠が わっしょい百万夏まつりに出場

北九州市の第二十五回わっしょい百万夏まつりは、八月四日、五日小倉城周辺、小文字通り及び勝山公園を中心に開催されます。例年二百五十団体、三万人を超す人々が参加し、百五十万人からの観客を集める北九州市最大の祭典です。このわっしょい百万夏まつりに、今年木屋瀬祇園山笠の出場が決まりました。



わっしょい百万夏まつりの沿革

このまつりの沿革について少し触れておきましょう。

昭和六十三年の北九州市制二十五周年を迎えるに当り、それまで北九州青年会議所が開催してきた「まつり北九州」を市が発展的に引き継ぐ形で始められました。現在は、市民、企業、団体、行政が一体となった「わっしょい百万夏まつり振興会」において企画・運営されています。この振興会には財務、土曜日、ヨサコイ、百万踊

り、子どもイベント、広報と六つの部会があり、木屋瀬祇園山笠は土曜日部会の中で選ばれ、七団体、十四台の山笠の一つとして選ばれました。このまつりは二日間におたり、広い世代を対象としたさまざまなイベントが開催され、メインは土曜日が「夏まつり大集合」と「ヨサコイ」、日曜日は「百万踊り」と「花火」となっており、観るまつりも参加するまつりで構成されています。

住民の総意で出場の成功を期そう

このわっしょい百万夏まつりに木屋瀬祇園山笠が出場できる夢がかなえられたことは大変喜ばしく名譽なことでもあります。今年長崎街道四〇〇周年ということや手造り山笠が各町持ち回り一巡したという節目でもあります。

この出場に当り事業の成功を期して、木屋瀬八団体で実行委員会を立ち上げ高宮会長を始めとする役員体制を固めると共に有志による決起集会を行い意思結果をはかりました。これから祇園まつりに向け人形造りや付属品などの作成を急ぎ万全を期さなければなりません。

わっしょい百万夏まつりに木屋瀬祇園山笠が出場させるためには搬入 組み立て、撤去など一〇〇人に及ぶ人数も必要です。このように出場のためには人、物、金を自前で準備する必要があります。どうかこの出場の機会を住民の皆さんの物心両面にわたるご支援、ご協力によりまして成功させたいと念じております。皆様のご協力を心からお願ひ申し上げます。（徳永 興紀）

第11回 木屋瀬芸術祭

第11回木屋瀬芸術祭を5月のゴールデンウィーク（3〜5日）に開催しました。今年も延べ1200人を超える参加・集客で木屋瀬記念館は大いに賑わいましたことをご報告いたしますとともに、ご協力いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。

3日は韓国KBS-JAPAN (株)制作テレビ映像の放映「歴史スペシャル」17世紀朝鮮最大の武器密輸事件 悲劇の豪商 伊藤小左衛門の記録」を放映し、夜には古木雅士さんのピアノコンサートでこやのせ座に響きわたる素晴らしいピアノの音色に癒され、ゆつくりと流れる時間を楽しんでいただきました。

4日は、北九州市の至宝・マイスターの皆さんが「凡事徹底」というテーマで熱く語っていただきました。午後からは、「長崎街道 筑前六宿フォーラム」は長崎街道開通400年を記念した取り組みなどが紹介され、意見交換が積極的に行われました。



総会無事終了

平成24年4月27日、こやのせ座におきまして、第12回北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会総会が開かれました。平成23年度事業報告・決算報告・平成24年度事業計画案・予算案が議案として審議され、全て承認されました。